五島地協

第34号
２０１６年　９月２６日（月）

〒853-0033　　五島市木場町516-7
連合長崎五島地域協議会（五島地協）
発行責任者　　髙井良　芳行
TEL 0959-72-5749　　FAX 0959-72-5749
sptr3t69@key.ocn.ne.jp

連合平和ヒロシマ・ナガサキ集会

～恒久平和の実現に向けて核兵器廃絶への新たな１歩を～

原子爆弾が投下されて71年目を迎える中、連合五島地協は８月５日の平和ヒロシマ集会に１名・８月８日の平和ナガサキ集会に６名の代表を派遣しました。

８月５日の平和ヒロシマ集会で挨拶に立った連合本部神津会長は「連合は世界で唯一の被爆国のナショナルセンターとして、これまで以上に核兵器廃絶にむけた国内世論の喚起に注力するとともに、核兵器の悲惨さと非人道性を広く世界の仲間に訴えていく」と強い決意を述ました。

続く、被爆者の訴えでは、今もなお多くの病気を抱えながら語り継ぎ、またオバマ大統領が訪問された際に、被爆者を代表して言葉を交わされた坪井直さんが登壇し、被爆当時の惨状を語り、戦争がない社会の大切さを訴えました。

８月８日の平和ナガサキ集会では、ヒロシマ集会に続き連合本部神津会長が挨拶に立ち「連合は若い世代を対象に戦争の歴史や知識、語り部の皆さんの思いを継承することを目的に様々な取り組みを展開している。世界の核軍縮をすすめていく上で、世界で唯一の核兵器被爆国日本が、核兵器廃絶に向けた世論形成に対して果たすべき役割は極めて大きいものがある。その中でも、私たち労働組合が国際的な運動を牽引していかなければならない」。と訴えました。

２０１６連合平和行動 in 根室に参加

日本固有の領土である北方四島が旧ソビエト連邦によって不法占拠されてから71年が経過する中、９月10日から11日の２日間にわたり「２０１６平和行動ｉｎ根室」が開催され、五島地協から田端貴大さん（九電労組）が参加しました。

１日目は、北方四島交流センターにおいて「北方四島学習会」が開催されました。

学習会では第１部として映画「ジョバンニの島」が上映されました。第２部では４つのセミナーが開催され、次世代への継承、島の現状や諸課題、日ロ交渉の打開の道など様々な観点から北方四島について学びました。

２日目、納沙布岬・望郷の岬公園において開催された「２０１６平和ノサップ集会」には全国から約１２００名の仲間が結集しました。

北海道・広島・長崎・沖縄の青年委員会で構成するピースキャラバン隊は札幌をスタートし、平和の重要性をアピールしながら根室納沙布までおよそ６８０kmを走行。会場に到着しました。引き続き集会の挨拶に立った連合本部逢見事務局長は、「戦後70年の昨年は『次世代への継承』をスローガンに掲げて取り組んだが、今後も継続していく考えである。また、北方領土問題の解決に向け諸団体とのさらなる連携のもとで運動を展開し、連合は北方四島の返還と日ロ友好条約の締結が実現するまで今後も取り組みを強化していく」。と挨拶されました。その後、北海道知事をはじめとする来賓挨拶や紹介、元島民の訴え、連合島根からの竹島問題の特別報告、平和メッセージなどが行われ最後に地元釧根地協会長の力強い団結ガンバローで締めくくり閉会となりました。

写真は連合北海道HPより